

令和9年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

【調査票】

学校番号	学 校 名	課 程
3 0	福島県立白河実業高等学校	全日制

アドミッション・ポリシー

白河実業高等学校では、次のような生徒を求めています。

- ①工業や商業の分野に興味・関心を持ち、専門的な知識と高度な技術の習得に努力し、将来、地域産業の中核となって地域社会の発展を支える意欲のある生徒
- ②高校生活に明確な目標を持ち、学習以外にも部活動や資格取得、ボランティア活動等に意欲的に取り組む生徒
- ③多様な人々との繋がりを大切にし、他者と協働しながら目標達成に向けて弛まぬ努力を継続できる生徒

【前期選抜】

特色選抜

大学科 小学科	募 集 定員枠	志願してほしい生徒像
工業科 機械科 電気科 電子科 建築科 商業科 情報ビジネス科	全科共通 50% 程度	本校では、校訓である「勤勉・至誠・創成」のもと、それぞれの学科において学んだ知識や技術を生かし、将来的に地域社会の産業や文化の発展、地域創生に貢献できる人材の育成を目指しています。 特色選抜では、運動や文化的な活動において優れた実績や資質を有し、入学後も学業と部活動を3年間両立させる強い意志があり、中心として活躍する生徒を求めています。なお、対象の部活動については募集要項に示します。 【各科が求める生徒像】 機械科 ・ものづくりに興味・関心があり、機械に関する専門的な技術・技能の習得、及び資格取得に意欲的に取り組む者 ・将来、機械関連分野への就職や進学をしたいという希望を持っている者 電気科 ・電気の分野に興味・関心があり、専門的な知識・技術・技能の習得に意欲的に取り組む者 ・ものづくりや実践的・体験的な学習活動を通じて、将来、地域や社会の発展に主体的に貢献できる者 電子科 ・電子分野に興味・関心があり、専門的な知識・技術の習得に意欲的に取り組む者 ・ものづくりや資格取得に意欲的であり、将来、電子分野の技術者を目指す者 建築科 ・建築に関する興味・関心があり、学ぶ意欲が強い者 ・ものづくりや資格取得に関心を持ち、将来、建築分野の技術者を目指す者 情報ビジネス科 ・商業に興味・関心があり、会計分野やビジネス情報分野の専門的知識を身に付けたい者 ・商業に関する各種検定試験や、高度な資格取得に積極的に取り組む者

選 抜 資 料						
学 力 検 査	特色選抜志願理由書	調 査 書	特 色 面 接	特 色 検 査	選抜資料の満点	備 考
5教科とする。 合計 250 点満点とする。	本校当該学科への志望 動機及び将来への抱負、 高校生活で特に学びたい こと等について本人が記 入するとともに、部活動 や地域クラブ活動等の実 績についても具体的に記 入する。	「各教科の学習の記録」は 135 点満点とし、「特別活動 の記録」及び「その他の活動 及び長所・特技等の記録」、部 活動や地域クラブ活動等の実 績や取組内容などは 55 点 満点とし、合計 190 点満点と する。	個人面接を実施す る。 面接については段階 評価とする。	実技を実施し、満点は 60 点とする。	500 点満点	

一般選抜

大学科 小学科	募集定員	選 抜 資 料			学力検査と調査 書の成績の比重	備 考
		学 力 検 査	調 査 書	一 般 面 接		
工業科 機械科	(8 0)	5教科とする。 合計 250 点満点とする。	「各教科の学習の記録」は 195 点満点 とし、「特別活動の記録」及び「その他 の活動及び長所・特技等の記録」、部活 動や地域クラブ活動等の実績や取組等 は点数化しないが内容を精査する。	集団面接を実施する。 面接については段階評価と する。 ※特色選抜との併願者は特 色面接の実施をもって一般面 接の実施とみなす。	同等とする。	
工業科 電気科	(4 0)					
工業科 電子科	(4 0)					
工業科 建築科	(4 0)					
商業科 情報ビジネス科	(4 0)					

【後期選抜】

大学科 小学科	選 抜 資 料			備 考
	調 査 書	面 接	小論文（又は作文）	
工業科 機械科 電気科 電子科 建築科 商業科 情報ビジネス科	「各教科の学習の記録」は 135 点満点とし、「特別活動の記録」及び「その他の活動及び長所・特技等の記録」、部活動や地域クラブ活動等の実績や取組等は 55 点満点とし、合計 190 点満点とする。	個人面接を実施する。 面接の内容には、中学校における学習活動の成果を問う内容（国語、社会、数学、理科、英語）を含む。 面接については点数化し、45 点満点とする。	作文を実施する。 あるテーマについて、600 字程度で自分の感想や考えを述べる作文とする。 作文については点数化し、30 点満点とする。	